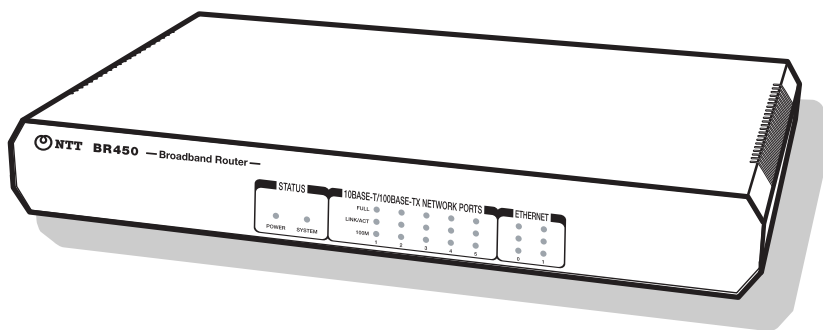


# BR450

## バージョンアップ手順書

- ファームウェアバージョンアップを行う前に、本書をよくお読みのうえ、内容を理解してからバージョンアップを行ってください。



# 目次

1 「セットアップツール」について.....	2
1.1 概要.....	2
1.2 ソフトウェアセット.....	3
1.3 動作環境.....	3
2 セットアップツールのインストール.....	4
2.1 アンインストール.....	4
3 バージョンアップ.....	5
3.1 ソフトウェアセットの解凍.....	5
3.2 通信の確認.....	5
3.3 バージョンアップ.....	6

## 1 「セットアップツール」について

### 1.1 概要

「セットアップツール」は、「ソフトウェアセット」を BR450 にダウンロードするツールです。ファームウェアをバージョンアップするときなどに使用し、BR450 に対する以下の操作を自動的に行います。セットアップツールは、「fwis-v□□□.exe」のような名前の自己解凍ファイルで提供されます。

- ダウンロード済みのファームウェア、パッチ、ヘルプの削除
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどのダウンロード
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどの有効化
- BR450 の再起動
- ログファイルの出力 (YYMMDD\_hhmmss.log)



図 1.1.1 セットアップツールの動作

## 1.2 ソフトウェアセット

BR450 にダウンロードするための、以下のファイルをセットしたものです。「br54□□□□.exe」のような名前の自己解凍ファイルで提供されます (□で表記した部分はバージョン、パッチに依存します。また、リリースによっては一部のファイルが提供されないことがあります)。

- ・ ファームウェアファイル (54-□□□.rez)
- ・ パッチファイル (54□□□-□□.paz)
- ・ ヘルプファイル (help.hlp)
- ・ バージョンアップ情報ファイル (ar54□□□□.ini)

最新のソフトウェアセットは、下記からダウンロードできます。

NTT 東日本 <a href="http://www.ntt-east.co.jp/ced/support/version/">http://www.ntt-east.co.jp/ced/support/version/</a> NTT 西日本 <a href="http://www.ntt-west.co.jp/kiki/">http://www.ntt-west.co.jp/kiki/</a>
--

## 1.3 動作環境

セットアップツールは、日本語版の下記の OS で動作いたします。本書では、Windows 2000 Professional の場合を例にして説明します。

- ・ Windows<sup>®</sup> 95、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows Me
- ・ WindowsNT<sup>®</sup> 4.0、Windows 2000 Professional、Windows XP

## 2 セットアップツールのインストール

- 1 自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- 2 次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先として「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

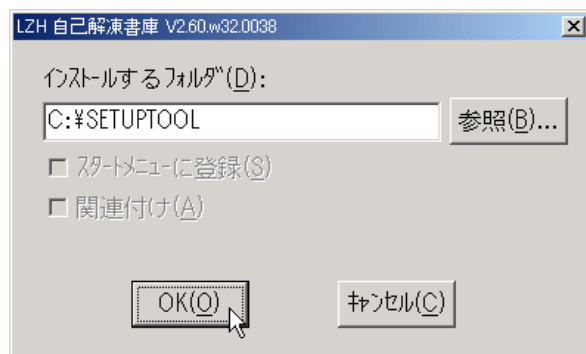


図 2.0.1 解凍先のフォルダーを指定

- 3 次のようなファイルが解凍されます。



図 2.0.2 解凍されたファイル

### 2.1 アンインストール

セットアップツールを解凍したフォルダーを削除してください。前述の例では、「C:¥SETUPTOOL」です。

## 3 バージョンアップ

### 3.1 ソフトウェアセットの解凍

- 1 最新のソフトウェアセットの自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- 2 次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先としてセットアップツールと同じフォルダー「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

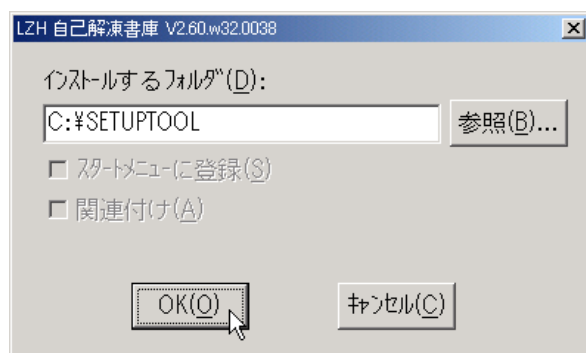


図 3.1.1 解凍先のフォルダーを指定

### 3.2 通信の確認

BR450 へのソフトウェアセットのダウンロードを行うためには、セットアップツールを実行するコンピューターと、BR450 が IP で通信できなければなりません。通信ができない場合は、次のようにしてコンピューターと BR450 が通信できるように設定してください。以下の説明は、次のような仮定で行います。ご使用の BR450 に合わせて適宜設定してください。

- BR450 の LAN 側のイーサネットインターフェース「vlan1」
- BR450 の LAN 側 IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.1/255.255.255.0」
- セットアップツールを実行しているコンピューターの IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.100/255.255.255.0」

- 1 コンソールターミナルから BR450 に Manager レベルでログインし（デフォルトのユーザー名は「manager」）、次のコマンドを実行してください。

```
manager > enable ip   
manager > add ip interface=vlan1  
          ipaddress=192.168.10.1 mask=255.255.255.0 
```

- 2 Windows 95/98/Me の場合は MS-DOS プロンプトから、Windows 2000、WindowsNT の場合はコマンドプロンプトから、BR450 に対して Ping を実行します。「Reply from 192.168.10.1 ....」のように表示されれば通信が可能です。

```
C:¥> ping 192.168.10.1 
```

### 3.3 バージョンアップ

**重要：**バージョンアップは、絶対に運用中には行わないでください。万が一、BR450 運用中に実行した場合、バージョンアップに失敗するだけでなく、BR450 が起動できなくなる可能性があります。

1 「fwinst.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



図 3.3.1 セットアップツールの起動

2 「参照」をクリックしてください。

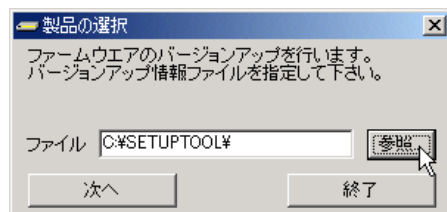


図 3.3.2

3 該当機種のバージョンアップ情報ファイル (ini) を選択して、「開く」をクリックしてください。下記では、バージョンアップ情報ファイルとして「ar542521.ini」を選択しています。



図 3.3.3 バージョンアップ情報ファイルの指定

4 「次へ」をクリックしてください。

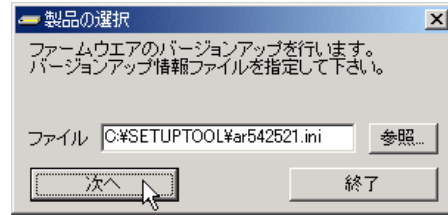


図 3.3.4

5 ダイアログボックスの内容（インストールされるバージョン）を確認し、「次へ」をクリックしてください。

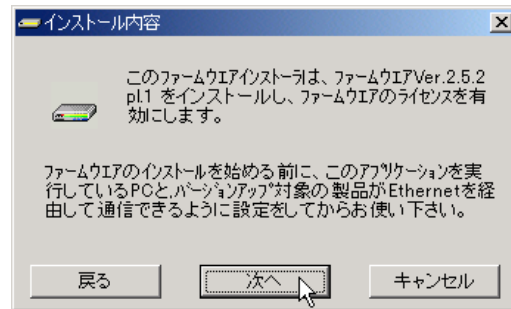


図 3.3.5 バージョンの確認

6 「IP ネットワーク」を選択し、バージョンアップの「対象機器の IP アドレス」を入力して、「OK」をクリックしてください。<sup>\*1</sup>

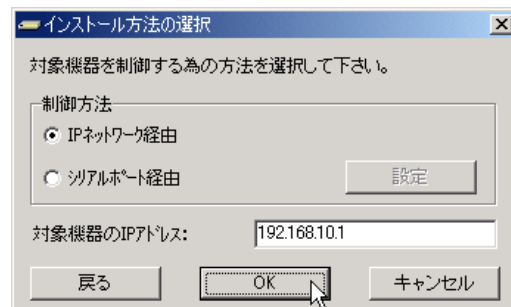


図 3.3.6 BR450 の IP アドレスの入力

\*1 誤ってファームウェアを消去し、さらに電源のオフ / オンまたは「restart reboot」コマンドによる再起動を行ってしまった場合は、「シリアルポート経由」を選択してください。ファームウェアが存在しない状態で、BR450 を起動すると BootROM モードとなり、Telnet は使用できません (tftp はサポート)。詳しくは、セットアップツールに付属の「Readme.txt」をご覧ください。

- 7 ユーザー「manager」のパスワード\*2を入力し、「OK」をクリックしてください。BR450 がセキュリティーモードに設定されている場合、Security Officer レベルのユーザーでログインしてください。

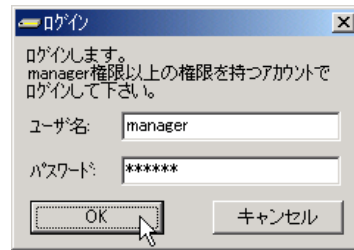


図 3.3.7 ログイン

- 8 バージョンアップが開始されます。「インストール状況」ダイアログボックスの上段に進行状況の概要、テキストボックスに実行コマンドのログが表示され、「情報」ダイアログボックスにより実行中のコマンドが完了するまでの予想待ち時間が表示されます。ログは、セットアップツールがインストールされているフォルダーに（ここでは ¥SETUPTOOL）、030430\_175602.log のようなファイル名で保存されます。

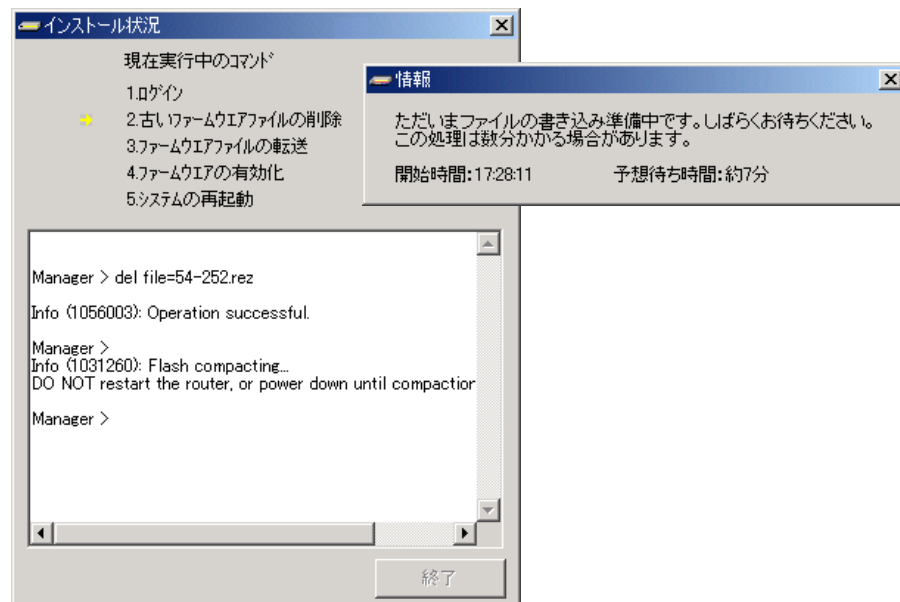


図 3.3.8 インストール状況

**重要：**手順 8 が実行されている間は（数分かかります）、絶対に BR450 の電源をオフにしたり、再起動しないでください。電源のオフや再起動を実行すると、フラッシュメモリー上のファイルシステムが破壊されることがあります（設定ファイルなどの重要なファイルが失われます）。

\*2 ユーザー名「manager」の初期パスワードは「friend」です。



- 9 「ファームウェアの有効化」まで完了した時点で、BR450 を再起動するか否か問われますので、「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックした場合、BR450 は再起動しません（セットアップツールを終了した後、BR450 の電源のオフ / オン、または restart reboot コマンドを実行してください）。

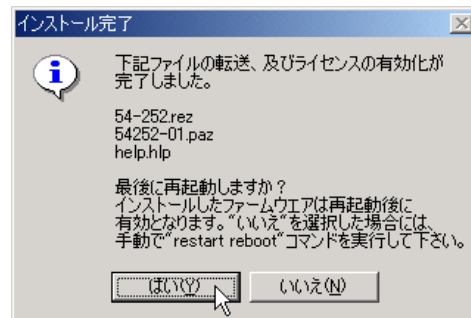


図 3.3.9 再起動の確認

- 10 「OK」をクリックしてください。



図 3.3.10

- 11 「終了」をクリックしてください。

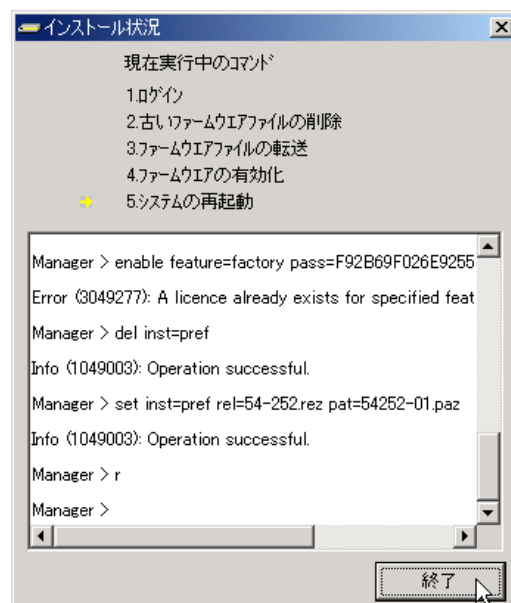


図 3.3.11 セットアップツールの終了

12 「はい」 をクリックしてください。



図 3.3.12

13 以上でソフトウェアのバージョンアップは終了です。BR450 の再起動後、ハイパーターミナルや Telnet でログインし、SHOW SYSTEM コマンドを実行すると、Software Version の項でソフトウェアのバージョンを確認することができます。SHOW FEATURE コマンドにより、ライセンスが与えられている機能の一覧が表示されます。

```
Manager > show system 

Router System Status                               Time 18:35:21 Date 30-Apr-2003.
Board      ID  Bay Board Name                          Rev      Serial number
-----
Base       190   AR450                                               M1-0     58046888
-----
Memory -   DRAM : 65536 kB   FLASH : 16384 kB
-----
SysDescription
CentreCOM AR450 version 2.5.2-01 20-Mar-2003 ←現在のバージョン
SysContact

SysLocation

SysName

SysDistName

SysUpTime
201104 ( 00:33:31 )
Boot Image      : 450_105.FBR size 872376 16-Apr-2003
Software Version: 2.5.2-01 20-Mar-2003 ←現在のバージョン
Release Version : 2.5.2-00 17-Dec-2002 ←リリースバージョン
Patch Installed : Release patch
Territory       : japan
Help File       : help.hlp

....
```

図 3.3.13 SHOW SYSTEM の表示例

## 商標について

Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。